

# ESGレポート

モルガン・スタンレー  
グローバル・サステイン戦略ファンド  
(為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

追加型投信 / 内外 / 株式

## はじめに

このレポートは、「モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略ファンド」（以下、「当ファンド」といいます。）が環境や社会に与える影響についてご説明するESGレポートであり、当ファンドの運用を行なうモルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメントのインターナショナル・エクイティ運用チーム（以下、「運用チーム」といいます。）によるエンゲージメント※レポートやその他の資料からの一部抜粋を含みます。

レポートを通じて、当ファンドおよびグローバル・サステイン運用戦略（以下、「当戦略」といいます。）のリターン、特に“社会的リターン”への取り組みをご紹介します。

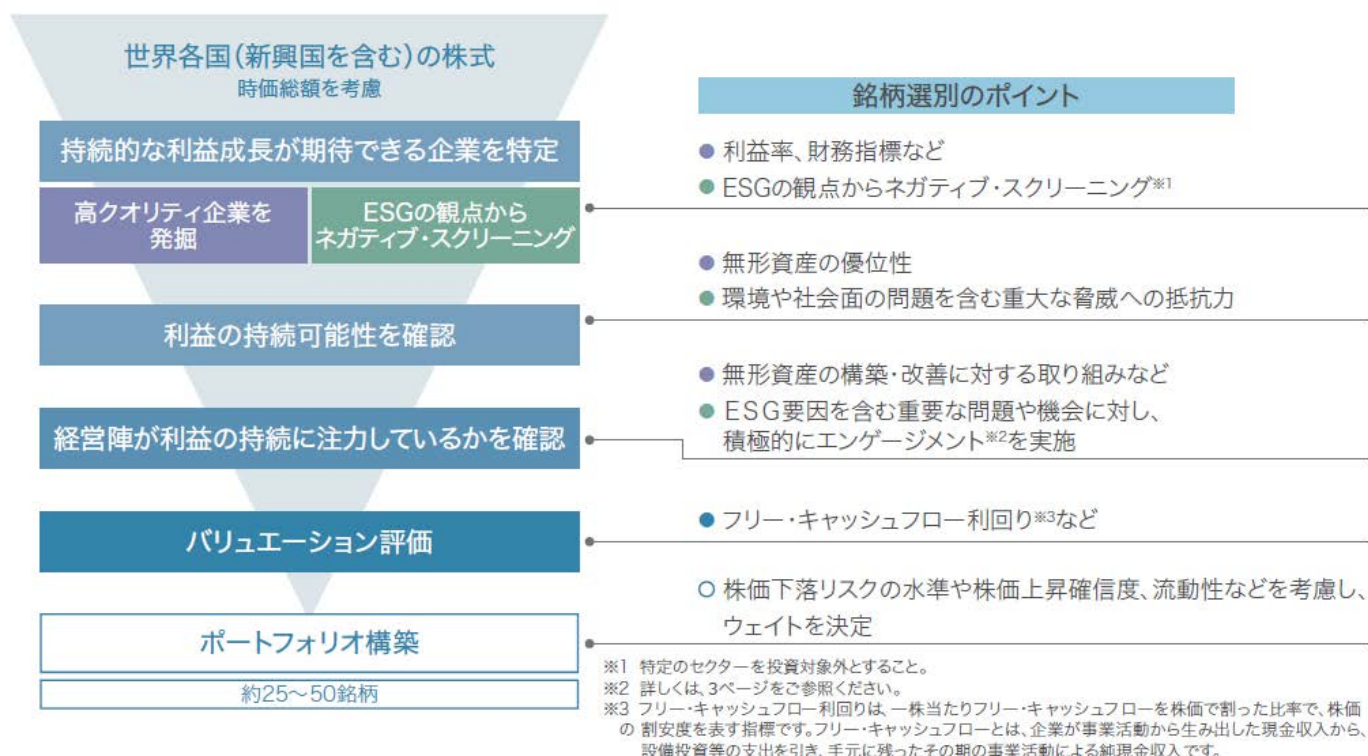
皆さまからの投資資金が、経済的な利益を生み出すだけでなく、社会問題の解決につながっていることについて、ご理解を深めていただければ幸いです。

※ 運用チームはエンゲージメントを「企業価値の持続的な成長の促進や企業価値を持続的に成長できるか判断するために、企業が抱える課題やその対策方法について、経営陣や社外取締役と建設的な対話を行なうこと」と定義しています。

## 運用プロセス

当ファンドは、高いブランド力、強固な販売網など、市場優位性の高い無形資産を裏付けとして、持続的な利益成長が見込める企業を「高クオリティ企業」と定義しています。世界中の企業の中から高クオリティ企業を発掘し、ポートフォリオを構築します。また、ESGの観点においては、運用チームが企業のESGへの取り組み状況を直接評価しています。

### ポートフォリオ構築プロセスの基本的な考え方のイメージ図



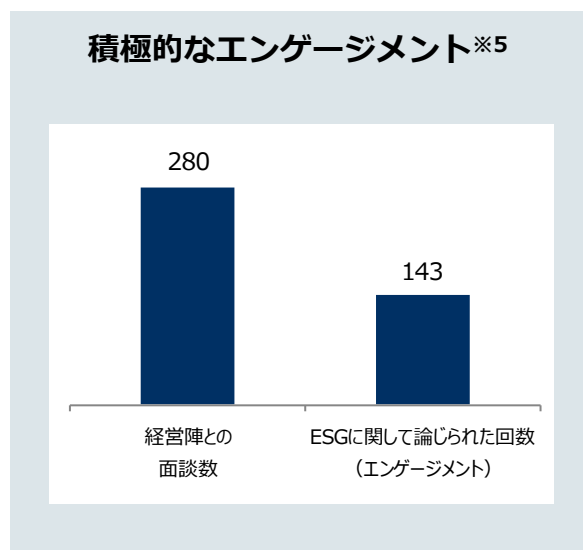
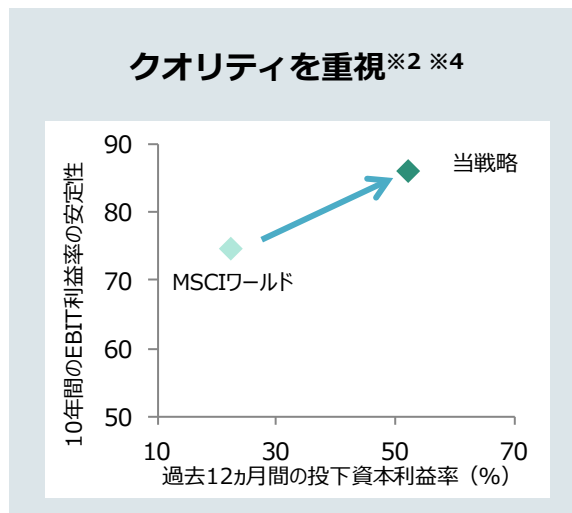
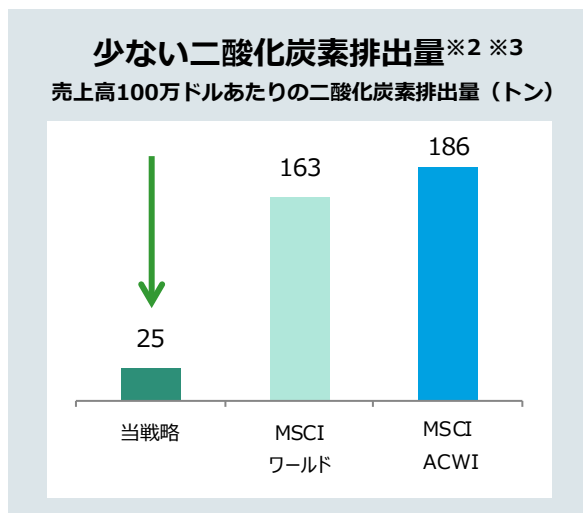
(出所) モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメントの情報を基に野村アセットマネジメント作成

上記は、ポートフォリオの構築プロセスの基本的な考え方のイメージを示したものです。資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。また、上記の内容は今後変更となる場合があります。

## 当戦略のESGプロセス

### 世界中からクオリティが最も高い41銘柄を抽出※1

運用チームは、「高クオリティ企業への投資」と「ESGインテグレーション」「エンゲージメント」を組み合わせた運用で長い経験と実績があります。当戦略では「ネガティブ・スクリーニング」を加え、よりESG問題に配慮しつつ優れたパフォーマンスの獲得を目指します。



当戦略は温室効果ガス排出原単位（売上あたりの温室効果ガス排出量）に関する除外基準を投資ユニバース内に設けています。想定される各企業の温室効果ガス排出原単位でランク付けを行ない、下位を除外することで魅力的な投資リターンを提供を目指します。

ESGに関する重大なリスクと機会の評価は、投資リターンの長期的な持続性を分析するうえで不可欠な要素となっており、積極的なエンゲージメントは運用プロセスにおける基本的な役割を果たしています。

**運用プロセスにESG評価を統合し、ポートフォリオを構築します。**  
**化石燃料は投資対象外、建設資材、エネルギー、金属・鉱業、公益事業※6、成人向けエンターテインメント、アルコール飲料、一般人向け火器、ギャンブル、たばこ、武器への投資を制限します。**

※1 2022年9月30日現在。通常25～50銘柄。

※2 2022年9月30日現在のTrucostのデータを基に、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメントが当戦略の代表ファンドおよび当該指数構成銘柄で加重平均したもの。

※3 Trucostは、カーボン排出原単位を、企業の投資額あるいは売上高100万ドルあたりの二酸化炭素排出量（スコープ1：燃料燃焼による直接排出量およびスコープ2：他社から供給された電気・熱等の使用による間接排出量）と定義。

※4 投下資本利益率 = 過去12か月のEBITA（税引き前・利払い前・無形資産減価償却前の利益） / （有形固定資産 + 運転資金（営業権は含まず））。金融セクターを除く。EBIT利益率の安定性は(1 - (標準偏差) / (平均))。2022年9月30日までの10年間の平均。

※5 2021年1月1日から2021年12月31日の期間に、運用チームの運用者が、重大な環境（E）、社会（S）、ガバナンス（G）要因に関して企業経営陣と議論した回数。

※6 原子力発電、原子力取引が中核事業となっている企業を含む。再生エネルギー、水道事業を除く。

（出所）モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメントの情報を基に野村アセットマネジメント作成

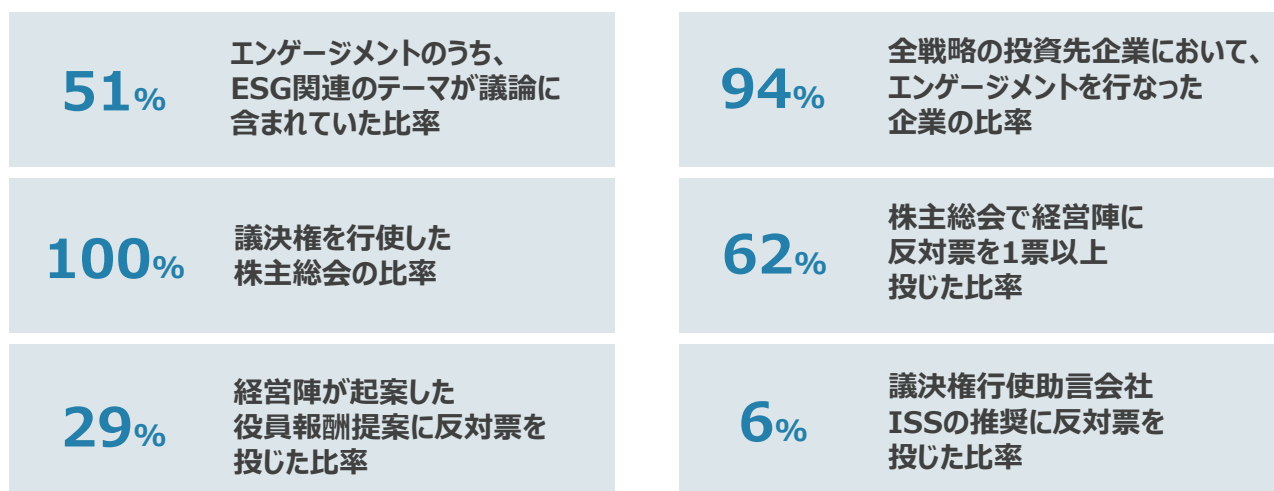
上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

## エンゲージメントと議決権行使

企業においてガバナンス要因（G）が正しく実践されなければ、ESGの残りの2つである環境要因（E）と社会要因（S）が適切に取り組まれない可能性が高いでしょう。

そのため直接的なエンゲージメントが非常に重要となり、経営陣と直接対話をすることで、経営陣のクオリティ、および経営戦略の短長期の優先順位を判断することが可能となります。

### 運用チームのエンゲージメント活動実績（2021年）



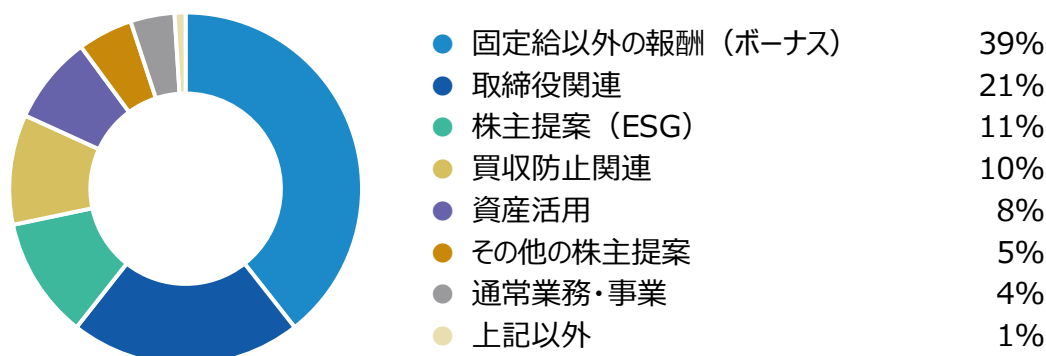
\* 上記は、運用チームが担当する全戦略合算の実績です。  
(出所) モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメントの情報を基に野村アセットマネジメント作成

## 議決権行使の状況

慎重に誠意を持って、長期的な投資リターンを最大化する目標にかなうよう、お客様の利益を最優先して議決権を行使しています。また、調査会社と契約し、議決権行使の事案の分析と助言を受けています。ただし、運用チームは、調査会社からの助言を受けていますが、そのすべてを助言通りに行なっているわけではなく、すべての議案に対して議決権行使の方針に基づき、お客様の利益を最優先して投票を行なっています。

### 経営陣に反対票を投じた比率（テーマ別）

経営陣に反対票を投じた全件数に占める割合（2021年）



四捨五入により合計は100%にならない場合があります。

(出所) モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメントの情報を基に野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

## エンゲージメントを強みとするグローバル・サステイン

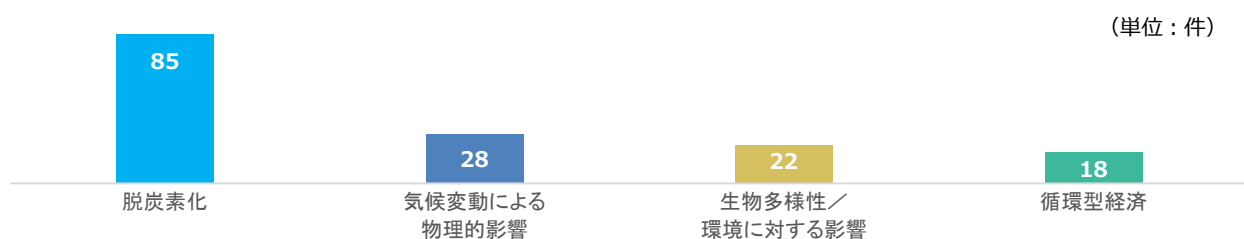
運用チームは、20年以上にわたって、リターンの継続性に関わる重要な課題に関して、企業に直接エンゲージメントを行ってきました。ポートフォリオ組入銘柄を厳選し、長期的な視野で集中的に投資を行なう運用手法を採用しているため、重要なESG関連テーマに関して経営陣にエンゲージメントを行ない、慣行の改善に向けて企業に影響を及ぼすことができる絶好の立場にいると信じています。

### 1. 2021年にESG関連のテーマについてエンゲージメントを行なった回数<sup>※1※2</sup>

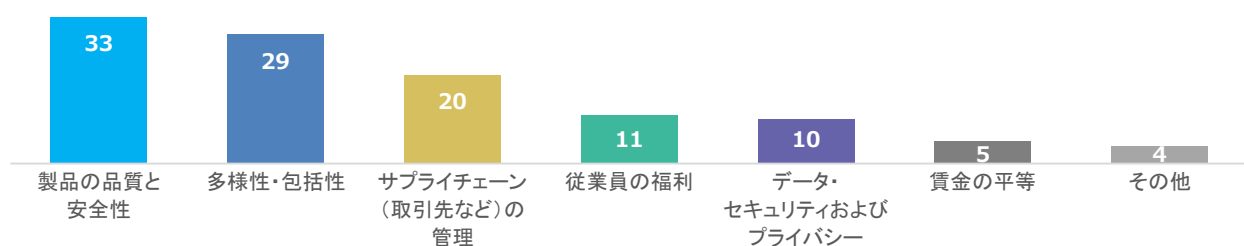


### 2. 2021年に運用チームがエンゲージメントで取り上げたテーマ<sup>※1※2</sup>

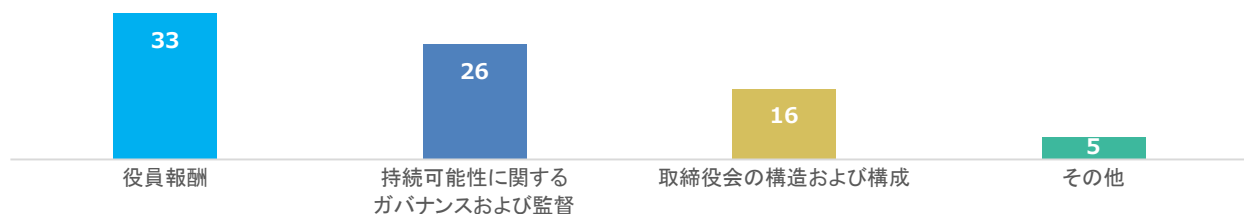
#### ◆ 環境



#### ◆ 社会



#### ◆ ガバナンス



運用チームは、企業が直面する長期的に最も重要な課題が何であるかに基づいてエンゲージメントと議決権行使の優先順位を決めています。また、包括的なアプローチを取っているため、面談において複数のテーマに関してエンゲージメントを行なっています。

※1 2021年1月1日から2021年12月31日までの12ヵ月間のデータ

※2 1回の面談で2件以上のテーマについて議論することがあるため、ESG関連のテーマの合計数はESG関連のエンゲージメントの合計数より多くなっています。

(出所) モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメントの情報を基に野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

### バクスターインターナショナル<米国>

ヘルスケア

腎不全、輸液、麻酔、疼痛管理の領域に特化した世界的なヘルスケアカンパニー

#### 企業概要

バクスターインターナショナルは米国を基盤とする薬品・医療関連機器製造メーカーです。腎臓関連機器や点滴関連機器、それらに関連する薬品などを製造しています。各事業において市場シェアが高く競争力があり、製品の信頼性が重要な事業であるため新規参入も困難であることから、業績が安定していることが特徴です。

#### 健康・社会・環境へのコミットメント

同社は2040年までの、直接的な業務に関するカーボンニュートラルの実現を目標に掲げています。また、患者や医療従事者を金銭的に支援する基金を設立するなど、社会貢献の面からもサポートを行なっています。



※画像はイメージです

#### エンゲージメント活動 ~DE&I（多様性、公平性、包括性）※~

##### “課題”

※DE&I：ダイバーシティ（多様性）、エクイティ（公平性）、インクルージョン（包括性）

一般的に、DE&Iは測定が行なわれないため行動が取りにくい分野ですが、企業の多様性の取り組みに対する株主からの関心が高まるにつれて、具体的な目標や行動計画、改善への期待が高まっています。同社は過去に設定した目標を達成できておらず、指導的地位にある女性と少数民族の人数は減少しています。運用チームは新たな目標を達成するための同社の行動に注目しています。また、世界経済フォーラムは、全世界でGPG（男女間賃金格差）が約37%、所得格差（賃金と賃金以外の所得合計の男女間格差）が51%近くに達していると推定しており、賃金平等についても行動することを同社に提言しました。

##### “行動”

運用チームは新たな目標に対する支援を強調し、データ収集、報告、進捗を促す実務方針の重要性を力説しました。また、全職場のGPGの公表を求めました。GPGは各地の労働状況（法定育児休暇、生活賃金の権利など）の影響を受ける可能性があります。企業の多様性と文化の有益な指標となります。

##### “成果”

GPGの課題に関して運用チームが有益かつ妥当なデータであると考えた理由について質問がありました。この課題に関する同社の積極的な姿勢を評価し、GPGおよびDE&I関連の指標開示が進むことを期待します。

（出所）モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメントの情報を基に野村アセットマネジメント作成

上記は運用チームの見通しおよび見解によるものであり、必ずしもモルガン・スタンレーおよび野村アセットマネジメントとしての見通しおよび見解を述べるものではありません。市場および経済環境などの変化により変更される場合があります。ファンドの運用方針に基づいた代表的な銘柄の紹介を目的としており、実際に当該銘柄に投資を行なうことを保証するものではありません。また、特定銘柄の推奨や株価の上昇・下落を示唆するものではありません。過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

### エスティローダー<米国>

生活必需品

多くのブランドを傘下に置く化粧品・スキンケア用品・ヘアケア用品などを扱うグローバルメーカー

#### 企業概要

エスティローダーは1946年に設立された世界有数の化粧品メーカーです。「すべての女性は美しくなれる」という信条のもと、不屈の精神と大胆な戦略で取り組んできたエスティローダー夫人の意思を受け継ぎ、最高品質の製品で、多くの人々がそれぞれの美しさを見出し、表現するサポートを行なっています。

#### 健康・社会・環境へのコミットメント

ピンクのリボンをシンボルとして、1992年より乳がんキャンペーンを行なっています。また、2020年・2021年（同社の会計年度）には、直接的な業務に関してカーボンニュートラルを実現しています。



※画像はイメージです

### エンゲージメント活動 ～プラスチックをなくすために～

#### “課題”

同社が包装からプラスチックをなくすためにどのように取り組んでいるのか、その進捗を確認したいと考え、エンゲージメントを行ないました。

#### “行動”

定期的な対話を行なっている中で、同社の進捗状況を確認しその継続を求めることを目的に面談を実施しました。こうしたエンゲージメントにより、企業と経営陣のサステナビリティに対する取り組みについて、運用チームの仮説を再確認することができます。またこれらの取り組みを、投資している他の企業や調査中の企業において、達成可能な例を示すベンチマークとして参照することも可能になります。

#### “成果”

同社は、包装におけるリサイクルされた（または再利用可能な）プラスチックの使用を66%引き上げ、2025年までに包装素材の75～100%をリサイクル可能なものにする目標を表明しました。同社は、サプライヤーと共同で分子リサイクル技術および再生樹脂ポートフォリオ（最大100%の認証済みリサイクル材料）を使用して包装素材を開発するなど、規模と立場を利用してサプライヤーとともに変化を推進しています。

（出所）モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメントの情報を基に野村アセットマネジメント作成

上記は運用チームの見通しおよび見解によるものであり、必ずしもモルガン・スタンレーおよび野村アセットマネジメントとしての見通しおよび見解を述べるものではありません。市場および経済環境などの変化により変更される場合があります。ファンドの運用方針に基づいた代表的な銘柄の紹介を目的としており、実際に当該銘柄に投資を行なうことを保証するものではありません。また、特定銘柄の推奨や株価の上昇・下落を示唆するものではありません。過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

### エクスペリアン<英国>

資本財・サービス

信用データと分析ツールをグローバルに提供する業界のトップランナー

#### 企業概要

エクスペリアンはロンドン証券取引所に上場するクレジット・マーケティング・サービス会社です。クレジット（信用）の供与やモニタリング、および不正行為やクレジットリスクの最小化を支援する大型データベースを管理する企業です。

#### 健康・社会・環境へのコミットメント

2021年3月にはTCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）への公式な賛同を表明しました。また2030年までのカーボンニュートラルの実現に向けて、独自にマイルストーン（中間目標）を設定・ウェブサイト上で進捗を公表しています。



※画像はイメージです

### エンゲージメント活動 ～炭素排出量の削減～

#### “課題”

同社は炭素排出量は比較的少ないものの、「間接的」排出量（スコープ3）がスコープ1や2と比べて多いため、どのように目標を達成しようとしているか、また企業活動の上流と下流における炭素排出にどのように取り組む意向であるかを理解するためにエンゲージメントを行ないました。

#### “行動”

同社のスコープ1と2の排出量を知ることからエンゲージメントを開始し、スコープ3排出量にどのように取り組むのか議論しました。同社が脱炭素化を重視していることから、環境または社会の指標が役員報酬の目標に含まれていない理由を質問することにエンゲージメントの内容を移行しました。

#### “成果”

同社から、「スコープ1と2に関しては、データセンターとストレージセンターが多くの排出量を占めており、スコープ3に関しては、その約80%が上位20のサプライヤー（ほとんどが付帯サービス）によるもの」との回答を得ました。また、役員報酬への評価に環境と社会に関する指標を含めることについては、「2020年の報酬モデル変更時点で株主からの強い要求は無かったものの、その後のESG指標への関心の高まりによる変化を同社が認識していること」を確認しました。

（出所）モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメントの情報を基に野村アセットマネジメント作成

上記は運用チームの見通しおよび見解によるものであり、必ずしもモルガン・スタンレーおよび野村アセットマネジメントとしての見通しおよび見解を述べるものではありません。市場および経済環境などの変化により変更される場合があります。ファンドの運用方針に基づいた代表的な銘柄の紹介を目的としており、実際に当該銘柄に投資を行なうことを保証するものではありません。また、特定銘柄の推奨や株価の上昇・下落を示唆するものではありません。過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。



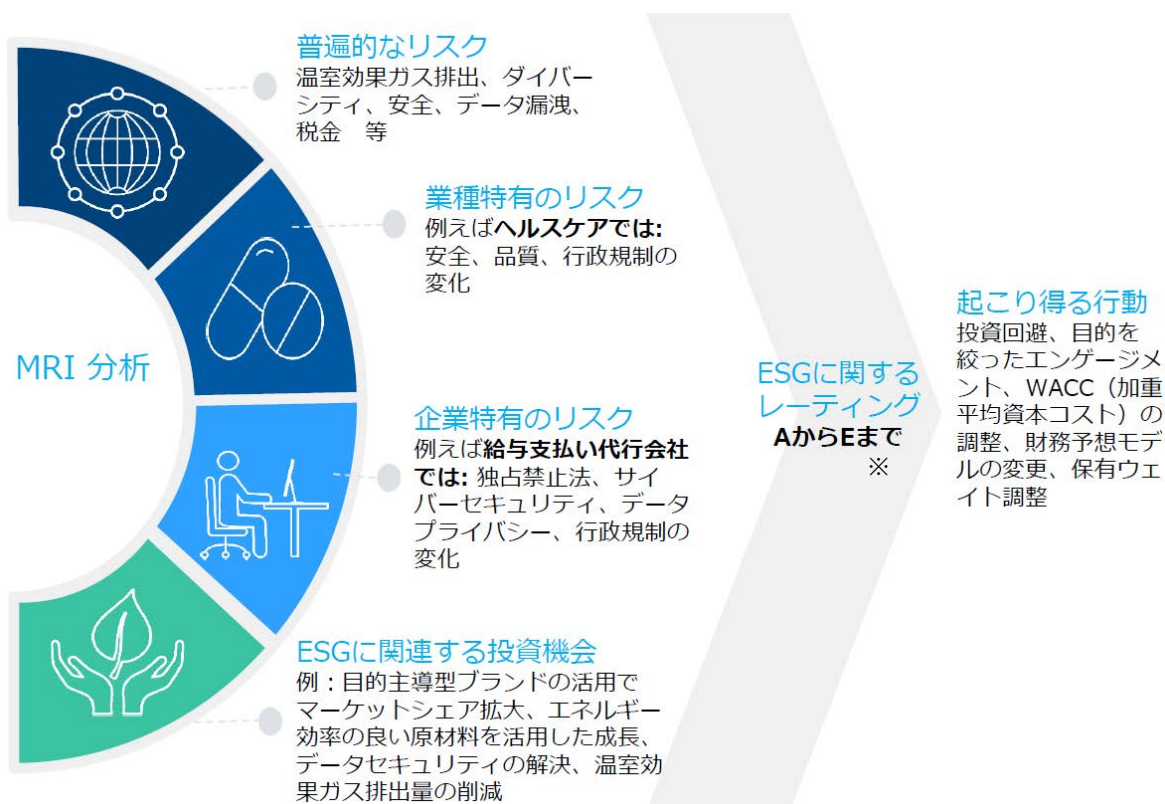
## 運用チームがESGを直接評価するMRI（Material Risk Indicator）の概念

### MRI：ESGに関する独自分析ツール

ESGに関連するリスクと機会を分析する際には、採点フレームワークであるMRIを利用します。運用者はMRIによって、ESGに関する企業価値を、長期にわたって同様の手法で判定することができます。

具体的な方法として、運用者は個別企業にESGレーティングを付与するために、以下の項目を確認します。

- ① ESGに関するリスク（製品の安全性やデータ・セキュリティなど）
- ② ESGに関する機会（二酸化炭素排出量削減や、廃棄物削減のための技術的な解決策など）
- ③ 上記リスクと機会が与える投資行動への影響



さらに、特に問題のある企業に関しては、普遍的なリスク（温室効果ガス排出、ダイバーシティ、安全、データ漏洩、税金 等）、業種特有のリスク、およびESGに関する定量データ（CO2排出課税が課せられた場合に生じる営業利益への影響、ジェンダー平等性スコア、グローバルに税率が標準化された場合の影響）、および経営陣の報酬金に対する妥当性などを分析します。

これらのプロセスを経て、投資が適切と判断した場合にはシナリオ分析を行ない、ESG要素が企業のバリュエーションに与える影響などを予想します。一方で、MRI分析を通じてリスクが高いと判断した場合には、投資を避ける場合もあります。

当戦略の長期にわたる投資プロセスは、優れた（または向上している）ESG特性を持つ、経営の質が高い、バリュエーションが妥当な、高クオリティ企業を世界中から見つけ出すようにデザインされており、MRIはそれらに更なる完全性を加えるものであると信じています。

※ MRI分析を通じて、Aを最上位として各個別企業に対してESGに関するレーティングを付与します。  
（出所）モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメントの情報を基に野村アセットマネジメント作成

上記は運用チームの見通しおよび見解によるものであり、必ずしもモルガン・スタンレーおよび野村アセットマネジメントとしての見通しおよび見解を述べるものではありません。市場および経済環境などの変化により変更される場合があります。上記の運用目標または運用戦略が全ての市場環境で良好なパフォーマンスを達成できることを保証するものではありません。

## ファンドの特色／投資リスク

### ■ ファンドの特色

#### 1 世界各国（新興国を含みます。）の株式（DR（預託証券）※1を含みます。）を実質的な主要投資対象※2とし、信託財産の成長を目標に積極的な運用を行なうことを基本とします。

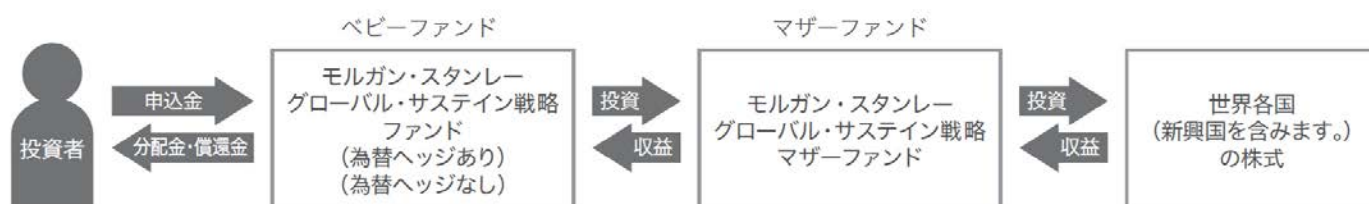
- 組入銘柄の選定にあたっては、個別企業の調査・分析等に基づいたボトムアップアプローチにより、企業の質（高い投下資本利益率、財務健全性、経営陣の経営能力および高いブランド力や強固な販売網等の無形資産に基づく競争優位性等）、ESG※3の観点等を勘案し、持続的な利益成長が期待できる銘柄を選定します。
- ポートフォリオの構築にあたっては、時価総額および流動性が高い大型銘柄を中心とすることを基本とします。

※1 Depository Receipt（預託証券）の略で、ある国の株式発行会社の株式を海外で流通させるために、その会社の株式を銀行などに預託し、その代替として海外で発行される証券をいいます。DRは、株式と同様に金融商品取引所などで取引されます。

※2 「実質的な主要投資対象」とは、マザーファンドを通じて投資する、主要な投資対象という意味です。

※3 ESGとは、Environment（環境）、Social（社会）およびCorporate Governance（企業統治）の総称です。

#### 2 ファンドはマザーファンドを通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。



マザーファンドの運用にあたっては、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドに、運用の指図に関する権限の一部を委託します。

#### 3 「モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略ファンド（為替ヘッジあり）」は原則として為替ヘッジを行ない、「モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略ファンド（為替ヘッジなし）」は原則として為替ヘッジを行ないません。

資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

### ■ 投資リスク

#### 当ファンドの投資リスク ファンドのリスクは下記に限定されません。

各ファンドは、株式等を実質的な投資対象としますので、組入株式の価格下落や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

《基準価額の変動要因》 基準価額の変動要因は下記に限定されるものではありません。

#### ◆ 株価変動リスク

ファンドは、実質的に株式に投資を行ないますので、株価変動の影響を受けます。特にファンドの実質的な投資対象に含まれる新興国の株価変動は、先進国以上に大きいものになることが予想されます。

#### ◆ 為替変動リスク

「為替ヘッジなし」は、実質組入外貨建資産について、原則として為替ヘッジを行ないませんので、為替変動の影響を受けます。特にファンドの実質的な投資対象に含まれる新興国の通貨については、先進国の通貨に比べ流動性が低い状況となる可能性が高いこと等から、当該通貨の為替変動は先進国以上に大きいものになることも想定されます。

「為替ヘッジあり」は、実質組入外貨建資産について、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本としますが、為替変動リスクを完全に排除できるわけではありません。なお、現地通貨による直接ヘッジのほか先進国通貨を用いた代替ヘッジを行なう場合がありますが、その場合、通貨間の値動きが異なる場合が想定され、十分な為替ヘッジ効果が得られないことがあります。また、円金利がヘッジ対象通貨の金利より低い場合、その金利差相当分のヘッジコストがかかるため、基準価額の変動要因となります。なお、一部の通貨においては為替ヘッジの手段がない等の理由から為替ヘッジを行なわない場合があり、為替変動の影響を直接的に受けることとなります。

# お申込みメモ／課税関係／当ファンドに係る費用 他

## ■ お申込みメモ

●信託期間	2030年3月6日まで（2020年2月28日設定）	
●決算日および収益分配	年1回の毎決算時（原則、3月6日（休業日の場合は翌営業日））に分配の方針に基づき分配します。（再投資可能）	
●ご購入時	●ご購入価額	ご購入申込日の翌営業日の基準価額
	●ご購入代金	販売会社の定める期日までにお支払いください。
	●ご購入単位	ご購入単位は販売会社によって異なります。 詳しくは販売会社にお問い合わせください。
●ご換金時	●ご換金価額	ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
	●ご換金代金	原則、ご換金申込日から起算して5営業日目から販売会社でお支払いします。
	●ご換金制限	大口換金には制限を設ける場合があります。
●その他	●スイッチング	「為替ヘッジあり」「為替ヘッジなし」間でスイッチングが可能です。 ※販売会社によっては、スイッチングのお取扱いを行わない場合があります。
	●お申込不可日	販売会社の営業日であっても、お申込日当日が以下のいずれかの休業日に該当する場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングの各お申込みができません。 ・ニューヨークの銀行・ニューヨーク証券取引所 ・ロンドンの銀行・ロンドン証券取引所

課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時（スイッチングを含む）および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

※お申込みの際には投資信託説明書（交付目論見書）でご確認ください。

## ■ 当ファンドに係る費用

（2022年12月現在）

●ご購入時手数料	ご購入価額に <b>3.3%（税抜3.0%）</b> 以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額（詳しくは販売会社にお問い合わせください。） <スイッチング時> 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 詳しくは販売会社にご確認ください。								
●運用管理費用（信託報酬）	ファンドの保有期間中に、期間に応じてかかります。 「為替ヘッジあり」と「為替ヘッジなし」の日々の純資産総額の合計額から決まる率を、各々のファンドの純資産総額に乗じて得た額								
	<table><thead><tr><th>ファンドの純資産総額（「為替ヘッジあり」「為替ヘッジなし」の純資産総額の合計額）</th><th>信託報酬率</th></tr></thead><tbody><tr><td>100億円以下の部分</td><td>年1.925%（税抜年1.75%）</td></tr><tr><td>100億円超500億円以下の部分</td><td>年1.870%（税抜年1.70%）</td></tr><tr><td>500億円超の部分</td><td>年1.815%（税抜年1.65%）</td></tr></tbody></table>	ファンドの純資産総額（「為替ヘッジあり」「為替ヘッジなし」の純資産総額の合計額）	信託報酬率	100億円以下の部分	年1.925%（税抜年1.75%）	100億円超500億円以下の部分	年1.870%（税抜年1.70%）	500億円超の部分	年1.815%（税抜年1.65%）
ファンドの純資産総額（「為替ヘッジあり」「為替ヘッジなし」の純資産総額の合計額）	信託報酬率								
100億円以下の部分	年1.925%（税抜年1.75%）								
100億円超500億円以下の部分	年1.870%（税抜年1.70%）								
500億円超の部分	年1.815%（税抜年1.65%）								
●その他の費用・手数料	ファンドの保有期間中に、その都度かかります。 （運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。） ・組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料 ・外貨建資産の保管等に要する費用 ・監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ・ファンドに関する租税 等								
●信託財産留保額（ご換金時、スイッチングを含む）	1万口につき基準価額に <b>0.15%</b> の率を乗じて得た額								

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

### < 当資料について >

当資料は、ファンドのご紹介を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。

### < お申込みに際してのご留意事項 >

●ファンドは、元金が保証されているものではありません。●ファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。●投資信託は金融機関の預金と異なり、元本は保証されていません。●投資信託は預金保険の対象ではありません。また、登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金制度が適用されません。●ファンドの分配金は投資信託説明書（交付目論見書）記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。●お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。

MSCIワールドおよびMSCI ACWIは、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。



◆設定・運用は

## 野村アセットマネジメント

商号：野村アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
加入協会：一般社団法人投資信託協会/  
一般社団法人日本投資顧問業協会/  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先：野村アセットマネジメント株式会社

●サポートダイヤル ☎ 0120-753104 <受付時間> 営業日の午前9時～午後5時

●ホームページ

<http://www.nomura-am.co.jp/>

